

目標(5) 子育て・子育て

多様な主体が子育て・子育てを支えます



この施策が目指す5年後のまちの姿

- ◇安心して子どもを産み育てられる環境が整っているまちになっています。
- ◇多様化する生活スタイルの中で、子育て・子育てを通じて家族・地域のきずなを深めていくまちになっています。
- ◇子育て・子育てを支える人材・環境が整えられて、子育てに孤立しないまちになっています。

この目標分野の現状と5年後のまちの姿の実現を見据えた課題

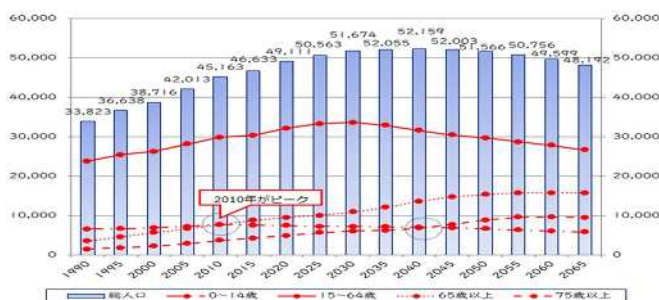
《現状》

- ◆就業者数の増加に伴い女性割合も増加しているため、今後も子育て支援に対するニーズの増加が想定されます。
- ◆将来的には子ども数は緩やかに減少することが見込まれます。
- ◆子育てを手助けする親族や知人がなく、孤立するおそれのある人が1割程度います。

《課題》

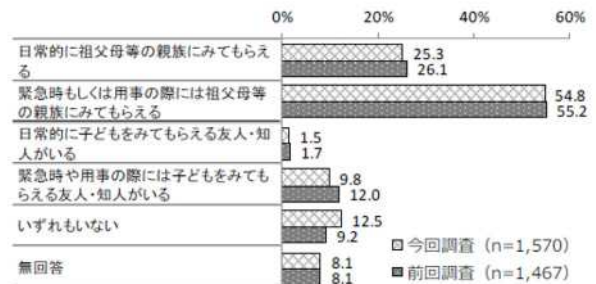
- ◇多様化する子育てニーズに応じた支援が必要となります。
- ◇女性の就業割合の増加による保育ニーズの増加と、子どもの数の減少による事業規模縮小とのバランスを考慮した柔軟性のある子育て支援が必要です。
- ◇子育て・子育てを支援・見守る人材の確保・育成が必要です。
- ◇子育てで頼れる人がいない人が地域の中で孤立することのないように、ICT\*を活用した、子育て世帯と施設、地域等の多様な関係者をつなげる仕組みを構築していく必要があります。

総人口・年齢区分別人口の推移・推計



出典：施策動向調査

日頃、お子さんの面倒をみてもらえる親族・知人の有無



出典：第2期高浜市子ども・子育て支援事業計画

こんなことに取り組みます

■「高浜市子ども・子育て支援事業計画」に沿って、子育て支援の充実を図り、待機児童のない保育環境とします。

- ・教育・保育ニーズを適切に把握するために定期的な意識調査に取り組みます。
- ・定期的に更新する「高浜市子ども・子育て支援事業計画」の策定に取り組みます。
- ・教育・保育ニーズに対応した、多様で柔軟な保育サービスの提供に取り組みます。
- ・ニーズに応じた地域子ども・子育て支援事業等の実施に取り組みます。

■子育ち・子育てを支える人材の育成を図るとともに、多様な主体が子育てを支える重層的な環境を実現します。

- ・子育ち・子育てを支える人材の発掘に取り組みます。
- ・様々な人材が子育ち・子育てに関わる環境の創出に取り組みます。
- ・ICT\*を活用して、子育て世帯と施設、地域等をつなげる仕組みを構築します。
- ・子育て中の親子が孤立しないように各種関係機関等が支える環境づくりに取り組みます。
- ・安全で安心できる場所を多くの子どもや保護者が利用できるように取り組みます。

目指す姿にどれだけ近づいたかをはかるまちづくり指標

目標の達成度を測る指標	現状値 (2022)	目標値 (2027)
待機児童数（幼稚園、保育園、認定こども園、児童クラブ、みどり学園）	0人	0人
高浜市 子育て支援ネットワークアクセス数	272,000件	414,000件
地域子育て支援施設利用者数（地域子育て支援拠点施設、児童センター、放課後居場所事業）	128,000人	154,000人

【関連する個別計画等】

◇地域計画(各小学校区) ◇高浜市子ども・子育て支援事業計画



一人ひとりにできること

- 親子で参加できる行事に参加しよう。
- 子どもに対する言葉かけのおもしろいガイドブックを作ろう。
- ブックドライブで本を有効活用しよう。
- 子育てのイベントに参加しよう。
- ふれあいサービス（社会福祉協議会の有償ボランティア）に登録してみよう。

みんなのできること

「みんなのできること」は各まちづくり協議会で作成している地域計画の一部を抜粋して掲載しています。掲載しきれていない項目もありますので、詳しくは各まちづくり協議会の地域計画をご参照ください。

- コミュニティスペースを解放して、子どもたちが自由に遊べる場とする。
- 親子を対象に、地域の方の力を借りて工作教室など各種教室を開催する。
- 子育て中の親向けの各種教室を開催する。
- 「子どもの夢/やってみたい」を子どもが考えて大人がサポートする仕組みづくりをする。
- 子育てについて先輩のアドバイスが聞ける、悩みを相談しあえるなどの場をつくる。

など



▲子どもたちの芋の苗植え体験



▲赤ちゃん親子交流事業

目標（6）学校教育



自分・仲間・社会の幸せのために

学び続ける子どもを育みます

この施策が目指す5年後のまちの姿

- ◇自ら学び、生きる力を身に付けている子どもが育っています。
- ◇自分も周りも大切にしながら、人・もの・ことに積極的につながる子どもが増えています。
- ◇自分を知り、持ち味を発揮している子どもが自分らしく輝いています。
- ◇なりたい自分に向かって学んでいる子どもが育っています。

この目標分野の現状と5年後のまちの姿の実現を見据えた課題

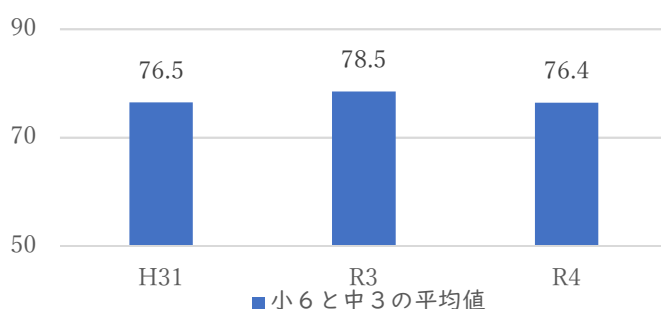
《現状》

- ◆学習指導要領では、教育の普遍の部分（知・徳・体の調和のとれた発達）を大切にすることとなっています。
- ◆教育を取り巻く環境は、情報化やグローバル化の進展など変化が激しい時代にあります。
- ◆「自分にはよいところがある」と思っている児童生徒の割合が低い傾向にあります。
- ◆一人一台端末やICT\*機器が整備され、学習での積極的な活用が進んでいます。

《課題》

- ◇学校教育では、常に社会の変化に対応した取組みが求められています。
- ◇変化の激しい時代においても、試行錯誤を繰り返しながらも、子どもたちが自分らしく生きていく力を育成する必要があります。
- ◇人と直接関わることのよさに気づき、多くの人との触れ合いの中で成長していくための取組みが必要です。
- ◇自分の主張だけでなく、相手の意見も尊重し、合意形成を図りながら仲間と共に様々なことに挑戦していく意欲を育む取組みが求められます。
- ◇自分のよさを理解し、自己肯定感の向上に向けた取組みが必要です。

(%) 自分にはよいところがあると思いますか  
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」



出典：全国学力・学習状況調査



▲主体的・対話的で深い学びを重視した学習風景

## こんなことに取り組みます

### ■生きる力を育む質の高い教育活動を実施します。

- ・学習指導要領に即した基礎学力の定着を進めます。
- ・主体的・対話的で深い学びを重視した学習を推進します。
- ・人・もの・こととの関わり合いを重視した教育活動を行います。
- ・キャリア教育の充実に向けた取り組みを進めます。
- ・道徳教育、情報モラル教育等、心の教育を推進します。
- ・一人ひとりが持ち味を発揮できる集団づくりを推進します。
- ・SDGs\*についての学習を推進します。

### ■一人ひとりを大切にしたきめ細やかな教育のしくみを創ります。

- ・異校種間・異学年間の交流を充実し、12年間の学びや育ちをつなげます。
- ・特別な支援を必要とする児童生徒への個別支援の充実に向けた取り組みを推進します。
- ・小学校において、教科担任制の積極的な取り組みを推進します。
- ・一人一台タブレットを中心としたICT\*機器のより有効的な活用を進めます。

## 目指す姿にどれだけ近づいたかをはかるまちづくり指標

目標の達成度を測る指標	現状値 (2022)	目標値 (2027)
「好きな教科がある」児童生徒の割合	88.3%	95%
「仲間と協力した場面があった」児童生徒の割合	89.5%	95%
「自分には好きなどころがある」児童生徒の割合	64.8%	75%
「将来の夢や目標をもっている」児童生徒の割合	68.5%	75%

### [関連する個別計画等]

◇地域計画(各小学校区) ◇高浜市教育基本構想

一人ひとりにできること

- 地域・学校のイベント・活動に参加して、子ども同士、親同士の交流をはかろう。
- 学習支援ボランティアに参加しよう。
- 地域で活躍する団体を知り、交流をもとう。
- いろいろな学区の地域活動に参加して、異校種間で交流しよう。
- 子どもの成長のために自分ができることに取り組もう。

みんなのできること

「みんなのできること」は各まちづくり協議会で作成している地域計画の一部を抜粋して掲載しています。掲載しきれていない項目もありますので、詳しくは各まちづくり協議会の地域計画をご参照ください。

- 児童を対象に不審者に遭遇した時に自分自身で守るための講座を開催する。
- 子ども110番のぼり旗などを設置し、児童が下校時にすぐに駆け込める体制をつくる。
- 青少年の非行防止に関する講演会や、勉強会などを通して、地域での子育てを考え、実践する。
- 児童の登下校時に、通学路の交差点で交通立哨を実施し、交通安全啓発と声かけを行います。 な



▲高浜市の未来を描く市民会議



▲学校での菊人形づくりの文化に触れる学習

目標（7）生涯学習・文化・スポーツ



学びで人がつながり合い

まちを支える力をみんなで育みます

この施策が目指す5年後のまちの姿

- ◇たくさんの感動や体験に出会い、「知りたい」「やってみたい」といった知的好奇心や意欲が高まり、学びが活発に行われています。
- ◇暮らしや学びを通じて培われた知恵・特技・経験等を活かし、市民同士の学び合いが活発に行われ、ともに成長しています。
- ◇先人たちのあゆみやまちの魅力・自慢が市民の共有財産として継承され、地域に息づいています。

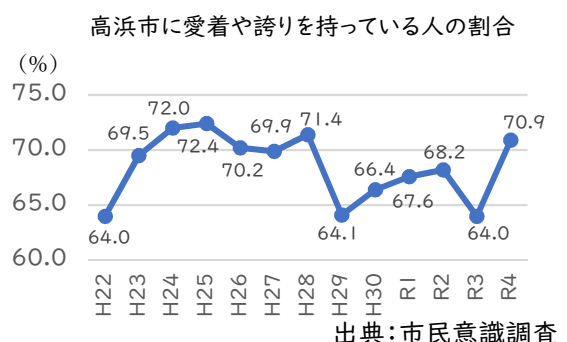
この目標分野の現状と5年後のまちの姿の実現を見据えた課題

《現状》

- ◆生涯を通じた学ぶ機会について約85%が重要と考えており、知的好奇心や意欲に火を灯し続ける必要性が認識されています。（出典：施策動向調査）
- ◆持っている知識・特技・体験などを地域や社会活動に活かしている人の割合は30～35%前後で推移しています。
- ◆高浜市に愛着や誇りを持っている人の割合が低下すると、まちの歴史や伝統・文化に対する関心や「誰かのために役立ちたい」「住んでいるまちをよりよくしたい」という“想い＝まちを支える力（まちづくりの原動力）”が希薄になることが危惧されます。

《課題》

- ◇人生100年時代、デジタル技術の進展等、社会の大きな転換点にある中で、市民一人ひとりが生き抜く力を身につけ、成長を続けられる機会の創出や環境づくりが必要となります。
- ◇持っている力を人づくり・まちづくりに積極的に活かし、学びを通じた連帯感を育てていく必要があります。
- ◇住んでいるまちのあゆみ、伝統や文化などを知り、「このまちが好き」という想いを高めていく必要があります。



■「知りたい」「やってみたい」といった想いが高まる取組みを進めます。

- ・「かわら美術館・図書館」を核に、展示・図書（読書活動）・ワークショップ等、様々な手法・資源を用いて、知的好奇心、学びの意欲、知性・感性、創造力が高まる取組みを推進します。
- ・子どものチャレンジする意欲を応援し、未来の高浜市を担う人材育成を行います。

■持っている力を人づくり・まちづくりに活かし、人と学びの輪を広げます。

- ・年齢や経験に関わらず、暮らしや学びで培われた知恵・特技等を気軽に活かせる機会を創出し、市民同士の学び合いを推進します。
- ・「する・みる・ささえる」といった多様な観点から、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進します。

■まちの魅力・自慢を掘り起こし、守り、伝え、育みます。

- ・様々な角度からまちの魅力・自慢（歴史・文化・伝統・産業・景観等）を見る・聴く・触れる機会を設けるとともに、伝統・文化を守り、育む活動を進めます。
- ・新編高浜市誌「高浜市のあゆみ」に掲載しきれなかった先人たちの足跡等について調査を継続し、後世へ伝え、人づくり・まちづくりに活かします。

目指す姿にどれだけ近づいたかをはかるまちづくり指標

目標の達成度を測る指標	現状値 (2022)	目標値 (2027)
読書相談件数	177件	215件
持っている知識・技能・体験を教えた・伝えたことがある人の割合	35.1%	40%
高浜市の歴史・伝統・文化に関する企画（行事）に参加したことがある人の割合（年間）	60.6%	70%

【関連する個別計画等】

- ◇地域計画(各小学校区) ◇高浜市生涯学習基本構想・基本計画



一人ひとりにできること

- 地域のイベントに友人と一緒にしてみよう。
- ゲームやオンライン上で理想の高浜市を創造・表現してみよう。
- 年1回はかわら美術館・図書館に行こう。(森前公園に隠された水生生物のレリーフを探してみよう)
- 学んだことを友人に話してみよう。井戸端会議をしよう。
- 子どもと一緒にスポーツしよう。

みんなのできること

「みんなのできること」は各まちづくり協議会で作成している地域計画の一部を抜粋して掲載しています。掲載しきれていない項目もありますので、詳しくは各まちづくり協議会の地域計画をご参照ください。

- 子どもによるお店体験、踊りや、楽器演奏等行い地域のふれあいを育む。
- ごく身近に知識、教養の資材を提供するため、図書の保管管理を行う。
- 地域の中で、いろいろな技能の講師に登録していただき、講師となって、世代間交流や健康増進、子育て支援をするため、健康体操等さまざまな講座を開催します。
- 自然とふれあう菊人形づくりを体験して、ふるさとの文化を体験してもらおう。
- 地域の魅力を活かし、世代間や異年齢同士の子どもの交流でき、地域の中で子どもも大人も活躍できる機会を創出する。 など



▲ようこそ！あかちゃん ようこそ！びじゅつかん



▲たかはま歴史散歩